

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	3-1-11 R1追加	取組項目名	市有地を活用した認定こども園等の整備			
所管	子ども青少年	局	子育て支援	部	待機児童対策室	課
〔P〕 取組内容	実施内容	売却を予定していた市有地や、余剰スペースのあった市有地の一部を活用して、認定こども園等を設置・運営する法人を募集し、選定事業者に当該市有地を貸付けることで、保育施設等の定員枠を拡大するとともに、賃料収入を確保する。				
	目標	H30	-			
		R1	認定こども園等を設置・運営する法人を募集・選定し、市有地の貸付開始（2件）			
	R2	選定した法人が認定こども園等を開園（2件）				
〔D〕 実績・進捗状況	H30	-				
		H30の達成度		〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R1	認定こども園等を設置・運営する法人を募集した結果、1件が選定され貸付を開始した。 ※予定していたもう1件については、令和2年度に貸付を開始する予定				
		R1の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30～R1の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R2	公募不調により、開園時期が遅れたため認定こども園等の開園は1件となった。 ただし、前年度記載の貸付は予定通り開始している。 加えて、公有財産を活用した認定こども園等を設置・運営する法人を募集した結果、4件が選定され、貸付料又は目的外使用料で収入が発生(内2件は貸付、もう2件が目的外使用許可)。 それにより、開園目標には達しなかったが、効果額の実績は見込みを大幅に上回ることができた。				
		R2の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30～R2の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		見込み	- 百万円	3 百万円	4.6 百万円	
実績		- 百万円	2 百万円	17 百万円		
評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良				
〔C〕 課題分析	市有地を活用した認定こども園等の整備案件は、事業者が当該案件に応募するか、仮に応募したとしても選定されるかなどの不確定要素に左右されることがある。					
〔A〕 改善策	HP等を活用し、周知することで、事業者の応募を増やすことで、事業成立の可能性を少しでも高める。					
備考						